

聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 19・23～30

十字架による新しい絆
ご覧なさい。あなたの母です。

ヨハネ 19・27

目標

神との関係、人との関係を変える
十字架の力を知る。

4月2日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 19・23

兵士たちはイエスを十字架につけると、その衣を取って四つに分け、

23節

今日は棕櫚の主日。イエス様が十字架にかかれる受難週のはじまりです。イエス様は逮捕され、裁判にかけられ、あつという間に死刑判決をうけてしまいます。そして十字架にはりつけにされ、着ていた服まではぎ取られてしまったのです。そんな苦しみの中にいるイエス様を、何人かの人が、そばで見つめていました。

今週は、十字架の上のイエス様と、十字架のそばにいた人々の場面から学びましょう。あなたも、そこにいるつもりでしっかり読んでください。

いの

祈り 天のお父様、今週は特に、十字架のイエス様をしっかりと考えながらすごします。

4月3日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 19・23～24

彼らは私の衣服を分け合い、私の衣をくじ引きにします。 24節

イエス様のそばにいた人たち、それはまず、イエス様を十字架につけた兵士たち。彼らは、イエス様の服をはぎ取り、分けたり、くじ引きをして自分たちのものにしていました。なんてひどいことを！ と思ってしまいますが、彼らのしたことは旧約聖書の詩篇22・18で預言されていたのです。

兵士たちは、苦しんでいるイエス様を見ても興味なし。なんという冷たい心！ しかし、そんな彼らのことをもイエス様は愛して、十字架にかかられたのです。

いの

祈り 天のお父様、十字架のイエス様に興味をもたない人たちが、どうか、イエス様に目をむけることができますように。

4月4日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 19・25

イエスの母とその姉妹、そしてクロパの妻マリアとマグダラのマリアが立っていた。 25節

イエス様のお母さんマリア、女性の弟子たちもイエス様のそばにいました。兵士たちとはまったくちがひ、悲しみながら十字架の上のイエス様を見つめていたのです。

イエス様の十字架は、あなたの罪の身がわりです。自分の罪のせいで、イエス様がこんなに苦しまれたなんて、とても悲しくなりませんか。でも、それは大切な悲しみ。罪に本当に気づいて悲しくなった時、イエス様に心から「ごめんなさい、ありがとう」が言えるのですから。

いの

祈り 天のお父様、イエス様の十字架はわたしの罪の身がわりです。イエス様、本当にごめんなさい。そして、ありがとうございます！

4月5日（水）



ヨハネ 19・26

おんな 女の方、ご覧なさい。あなたの息子
です。 26節

十字架のイエス様のそばに、弟子のヨハネもいました。イエス様は、はげしい苦しみの中、母マリアとヨハネをご覧になり、マリアに対して「ご覧なさい。あなたの息子です」と言われたのです。「ヨハネはあなたの子ですよ」ということです。

マリアは、イエス様という大切な息子を失おうとしていました。イエス様は悲しむマリアを思いやり、これからはヨハネが息子です、と言われたのです。イエス様の愛は、苦しみの中でも、自分のことよりほかの人に向けられる愛なのです。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様の愛の大きさにおどろきます。苦しみがあっても愛をあらわす人になりたいです。

4月6日（木）



ヨハネ 19・26～27

ご覧なさい。あなたの母です。

27節

イエス様は続けてヨハネにこう言われました。「ご覧なさい。あなたの母です」。「あなたの母」とはマリアのこと。「マリアはあなたのお母さんです」ということです。お母さんをあなたに頼んだよ、とヨハネにまかされたのです。

イエス様は、新しい家族をつくられました。イエス様を信じる人すべては、神の家族とされるのです。教会では「兄弟姉妹」と呼びあいますね。それは神の家族だからです。イエス様の十字架から、神の家族が始まったのです。さあ、あなたもイエス様を信じて神の家族になろう！

いのちの祈り 天のお父様、イエス様の十字架を心から信じます。わたしをあなたの家族にしてください。

4月7日（金）



ヨハネ 19・28

それから、イエスはすべてのことが完了したのを知ると、 28節

弟子のヨハネに母マリアをまかせられ、新しい神の家族をつくられたイエス様。イエス様の使命を、すべて終えられたのでした。

イエス様が十字架にかかれたのは、神様から離れていたわたしたちの罪がゆるされ、神様としっかりつながるため。そして、イエス様を信じる者どうしが神の家族となるためだったのです。イエス様の十字架の力はすごい。ただ罪がゆるされるだけじゃない。ゆるされたことによって、神様との関係も、人との関係も、祝福されていくのです！

いのちの祈り 天のお父様、イエス様の十字架が、神様との関係も人との関係も祝福してくださることを心から感謝します。

4月8日（土）



ヨハネ 19・23～30

「完了した」と言われた。そして、頭を垂れて霊をお渡しになった。

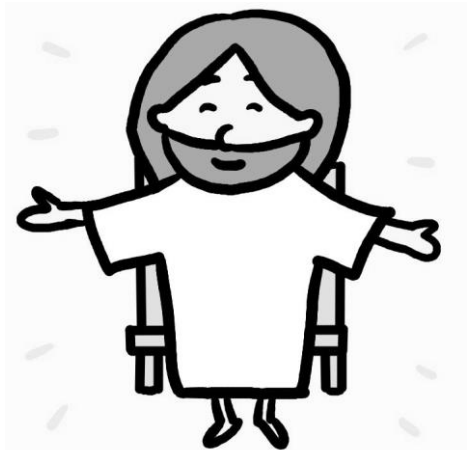
30節

「完了した」とは、「十字架の救いは完了した！」というイエス様の勝利宣言です！

ご自分を十字架につけ、服をはぎとる兵士を愛し、母マリアを思いやるイエス様。苦しみの十字架からは、愛だけがあふれていました。神の家族となったわたしたちが、イエス様のように人を愛することができるよう祈りましょう。わたしたちが愛するなら、「仲間になりたい！」と言う人がおこされて、神の家族がたくさんふえていきます！

いのちの祈り 天のお父様、イエス様のように愛する人になりたいです。わたしたちをとおして、神の家族に仲間入りする人がたくさん起こされますように！

イースター



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 20・11～18
復活の主との出会い
女の方、なぜ泣いているのですか。
ヨハネ 20・13
悲しみの涙を取り除く、復活の
キリストに出会う。

目標

4月9日(日)

聖書
聖句

ヨハネ 20・11～18
女の方、なぜ泣いているのですか。
13節

あなたが今までで一番つらくて、悲しくて、
いっぱい泣いて、いっぱい涙を流したのはどん
な時だったのでしょうか？ここでマグダラのマ
リアは、こんな悲しいことがあるかしらと、涙、
涙で、泣き続けたのです。それは大好きな、愛
するイエス様が十字架につけられて死んでしま
い、お墓におさめられたのに、三日目に行っ
てみると、イエス様のおからだがないのです。「女
の方、なぜ泣いているのですか」と声をかけら
れたのは、復活の主だったではありませんか。

いのちの祈り 天のお父様、イースターをありがとうご
ざいます。復活されたイエス様は悲しみ
の涙をふき払ってください感謝します。

4月10日(月)

聖書
聖句

ヨハネ 20・11～12
一方、マリアは墓の外にたたずんで
泣いていた。
11節

空っぽのお墓をのぞきにやってきたのは、ペ
テロとヨハネだったのです。ペテロといえば…
そう！もう、だれもがみとめるイエス様の
一番弟子でしたよ。ヨハネといえば、「イエス
の愛しておられた弟子」と自分で言うくらい、
イエス様に愛され、そしてイエス様を愛してい
たお弟子さんでした。この二人は、「よくわか
らない」と首をかしげながら家に帰って行きま
した。しかし、マリアは墓から離れられなくて、
ずっと墓の外に立って泣いていたのでした。

いのちの祈り 天のお父様、マリアはだれよりもイエス様
を愛していたのだとよくわかりました。
私もそうあります。

4月11日(火)

聖書
聖句

ヨハネ 20・13
だれかが私の主を取って行きまし
た。どこに主を置いたのか、私には
わかりません。
13節

涙でうるむマリアの眼に映ったふたりの白
い衣を着た御使い。ひとりはイエス様の死体の
置かれていた頭の方に、ひとりは足の方にす
わっていて、マリアに言いました、「女よ、な
ぜ泣いているのか」と。マリアの心はイエス様
への熱い愛でいっぱいです。「だれかが、わた
しの主を取り去りました」と言うマリア。「イ
エス様は、わたしの主なのです。だれかが取り
去ってしまつて、どこに置いたのかわからない
のです」と、泣く以外に何もできません。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様をマリアは「私の
主」と言いました。私にとってもイエス
様は「私の主」です。

4月12日（水）

聖書
聖句

ヨハネ 20・14～15

あなたがあの方を運び去ったのでしたら、どこに置いたのか教えてください。私が引き取ります。 15節

御使いたちにマリアが話していると、マリアのうしろに復活のイエス様が立たれました。うしろをふり向いたマリアの眼は、まだ涙でもっていて、それがイエス様とは全然わかりません。「女の方、なぜ泣いているのですか。だれを捜しているのですか。」と、園の管理人がたずねていると思って、「私が引き取ります」と言ったのです。そのマリアの熱い愛の言葉を聞かれたイエス様は、どんなにうれしかったでしょう！

いの
祈り

天のお父様、マリアがどんなにイエス様を愛していたかよくわかります。私もそれほどにも愛したいです。

4月13日（木）

聖書
聖句

ヨハネ 20・16

イエスは彼女に言われた「マリア」。 16節

イエス様はマリアの愛をひしひしと感じて、心をこめて、愛をこめて、マリアの名前を呼ばれました、「マリア」と。聞きなれた、なつかしい、愛するイエス様に名前を呼ばれて、マリアはハッとふり返って、とびつきたいような思いで、「ラボニ」（先生！）と言ったのでした。悲しみの涙は、一気に乾いてしまいました。よみがえられたイエス様は、今も生きておられ、私たちの名前も呼んでくださるのです。悲しみの涙もぬぐってくださいます。

いの
祈り

天のお父様、小さな私の小さな愛もイエス様は喜んでくださり、名前を呼んでくださり感謝します。

4月14日（金）

聖書
聖句

ヨハネ 20・17～18

マグダラのマリアは行って、弟子たちに「私は主を見ました」と言い、主が自分にこれらのことを話されたことを伝えた。 18節

ほう・れん・そうー 「エ？ ボク、ほうれん草きらいだよ」という子がいますか？ このほう・れん・そうとは、「報告」「連絡」「相談」のことで、人と人との間の交わりでは、とても大切ですという意味です。神様と人との間もそうなのですね。マリアは自分が主に会ったことを、まず、報告しました。弟子たちはオドロキだったでしょう。イエス様にお会いした話を、「あかし」と言います。とても感動ですよ。

いの
祈り

天のお父様、私もイエス様にお会いした人のあかしを聞いて、イエス様のことをもっと知りたいです。

4月15日（土）

聖書
聖句

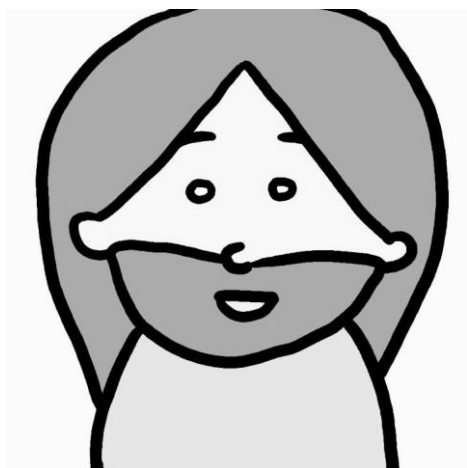
エレミヤ 29・10～14

あなたがたがわたしを捜し求めるとき、心を尽くしてわたしを求めたら、わたしを見つかる。 13節

マグダラのマリアのことを考えると、きょうの聖書のみ言葉を思い出します。マリアは、愛するイエス様を捜ね求めました。本当に他のことは何もかも忘れて、「一心に」イエス様を捜ね求めましたね！ そして、とうとう、よみがえられたイエス様に、他のだれよりも一番先にお会いできたのでした！ あなたもイエス様にお会いしたいですか？ どれくらい熱心に求めていますか？ 教会学校で一心にお話を聞き、お家でも聖書を読んでお祈りをしてみてください。

いの
祈り

天のお父様、マリアのように、私もイエス様にお会いしたいので、ますます教会学校に励んでいきます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 21・15～19

わたしを愛するか

あなたは、この人たちが愛する
以上に、わたしを愛していますか。

目標

ヨハネ 21・15

罪を赦し、回復させて下さる主
を知り、主を愛する者となる。

4月16日(日)

聖書
聖句

ヨハネ 21・15～19

この人たちが愛する以上に、わたし
を愛していますか。 15節

お友だちに裏切られたことがありますか？「く
やしいし、悲しいし、どうしていいかわからな
い。もう顔も見たくない」と思ったでしょうか。
実は、イエス様もそんな心の痛いことがあった
のです。一番弟子のペテロさんに、「あの人のこ
とは知らない！」と三度も言われたのです。
十字架にかかる前にね。でもイエス様はペテロ
を愛とゆるしの眼ざしで見つめました。復活し
てペテロに近づき、ゆるし、愛を求め、そして
「わたしの羊を飼いなさい」と、使命を与えら
れました。

いの
祈り

天のお父様、ペテロのように弱いわたし
も愛し、ゆるしてください感謝します。
あなたを心から愛し続けます。

4月17日(月)

聖書
聖句

ヨハネ 21・1～3

彼らは出て行って、小舟に乗り込ん
だが、その夜は何も捕れなかった。
3節

ここでもペテロはリーダーです。「私は漁に
行く」と言うと、そこにいた他の弟子たち数人
も、「私たちも一緒に行く」と言って舟に乗り
ました。彼らはイエス様から、「わたしについ
て来なさい。人間をとる漁師にしてあげよう」
(マタイ 4・19)と言われていたのを忘れてし
まったのでしょうか？自分の心の思うままに、
もとの漁師にもどって漁に出かけました。しか
し、1匹もとれなかったのです。主から離れる
とダメですね。

いの
祈り

天のお父様、イエス様のことを忘れて、
自分の思うままにしても、何の収穫もな
いことがよくわかりました。

4月18日(火)

聖書
聖句

ヨハネ 21・4～6

舟の右側に網を打ちなさい。そうす
れば捕れます。 6節

暗い夜、そう、弟子たちにとっては心もまっ
暗でしたが、その夜が明けたころ、イエス様が
岸に立っておられました！まさに、夜明けとな
りました。ところが、弟子たちはだれもイエス
様だとは気づきません。「何か食べるものは？」
「ありません」。「舟の右の方に網を」と言われ
て、弟子たちがそのあたりに網をおろしてみま
した。すると！どうでしょう！網が上がらな
いほどの大漁！イエス様のお言葉をそのまま
信じて従うと、すごい事が起こるのですね。

いの
祈り

天のお父様、イエス様から離れると何も
できません。でもイエス様につながると
多くの収穫があると信じます。

4月19日（水）

聖書
聖句

ヨハネ 21・7～8

それで、イエスが愛されたあの弟子が、ペテロに「主だ」と言った。7節

ヨハネは自分のことを「イエスが愛されたあの弟子」と記しました。（ヨハネさん、あなたにだけじゃないよ、わたしだってそうよ、とカゲの声？）そのヨハネはとてもデリケートでしたから、「アレ？ こんなこといつかもあったぞ。あっ、イエス様だ」とわかり、ペテロに、「主だ」と叫んだのでした。その声にペテロはびっくりしました。裸になっていたので、おそれ多く思っ、あわてて上着をつけて、海にとびこんだのでした。ペテロらしいね。

いの
祈り

天のお父様、すぐにイエス様だとわかった愛の使徒ヨハネのように、わたしも主と深い愛の交わりができますように。

4月20日（木）

聖書
聖句

ヨハネ 21・9～14

イエスは彼らに言われた。「さあ、朝の食事をしなさい。」 12節

夜明けの湖のほとり、すがすがしい朝の空気の中、陸に上がってみると、そこには炭火がおこしてありました。ペテロは一つの場面一たき火にあたっていた時のこと一を思い出したかもしれません。その上には魚があり、パンもありました。網を引きあげてとれた魚は153匹もありました！ さあ、朝の食事です。弟子たちはイエス様とわかっていたので、黙々と食べました。イエス様ご自身がパンや魚を与えてくださって、接待してくださったのでした。

いの
祈り

天のお父様、仕えられるためではなく、仕えるために来られたイエス様の愛がひしひしと伝わってきて、感謝です。

4月21日（金）

聖書
聖句

ヨハネ 21・15～17

わたしの羊を飼いなさい。 17節

「この人たちが愛する以上に、わたしを愛していますか」。〈たとえ皆があなたにつまずいても、私は決してつまずきません。〉（マタイ26・33）と言ったつ。わたしを愛していますか。わたしを愛していますか。〈私は三度、イエス様を知らないと言った〉。ペテロの心はズキズキうずいて、でも、「あなたは、私があなを愛していることを知っておられます。」とくり返しました。そのペテロをもう一度信頼して、大切な仕事を任せられました。

いの
祈り

天のお父様、誰の愛にも比べることのできないズバぬけた天の愛、アガペーの愛、イエス様の愛に圧倒されます。

4月22日（土）

聖書
聖句

ヨハネ 21・18～22

あなたは、わたしに従いなさい。 22節

それからイエス様は、ペテロの将来のことをお話しになってから、「わたしに従いなさい」と言われました。ふとペテロがふり返ると、ヨハネがついて来るのが見えたのです。ペテロはヨハネのことがとても気になって、「主よ、この人はどうなのですか」と、ついたらずねてしまいました。「あなたに何の関わりがありますか。あなたは、わたしに従いなさい」。私たちも、あの子のこと、この子のこと、気になっても、「私は主に従います」と決心しましょう。

いの
祈り

天のお父様、あなたは一人一人にちがった計画をお持ちです。「私はあなたにどこまでも従います」。



聖書
テーマ
暗唱聖句

創世記1・1～31

天地創造

はじめに神が天と地を創造された。
創世記1・1

目標

天地創造の神を信じる。

4月23日（日）

聖書
聖句

創世記1・1～2

はじめに神が天と地を創造された。

1節

聖書の、いちばんはじめの、み言葉。それは、はじめに神様が天と地をつくられた。この世界、宇宙は神様がつくられて始まったんです。これ、すごく大切です。宇宙も、ちゃんと始まりがあります。学校では神様のことはなんにも教えなくて、ぐうぜんが重なって宇宙ができた、って教えられます。でも、な～んにもないところに、ぐうせん宇宙ができるなんて、よく考えたらあるわけない。誰かがつくらなければ、ぜったいできないのです。

それは神様です。まず神様がおられて、この世界をつくられたのです。

いの祈り

天のお父様、あなたが天と地をつくれ、世界をはじめられたことを信じます。

4月24日（月）

聖書
聖句

創世記1・3～5

神は光を昼と名づけ、闇を夜と名づけられた。夕があり、朝があった。第一日。
5節

昨日の2節を読むと、世界は、やみだけでまっくらだったことがわかりますね。神様は「光、あれ」と言われました。すると、光ができて、神様の前にあらわれました！ 神様はその光を見て、よし、いいね！ と、とても満足されました。わたしたちのまわりには、あたりまえのように光があるけど…、光っていうものは、なかったんですね。

神様は光と闇を分けられました。光は昼。闇は夜、と名づけられました。夕が来て、朝になりました。世界ではじめの一日です！

いの祈り

天のお父様、あなたが光をつくれ、わたしたちが生きるこの一日をつくられました。そのことを心から信じます。

4月25日（火）

聖書
聖句

創世記1・6～8

神は大空を天と名づけられた。夕があり、朝があった。第二日。

8節

2節に「水の面」と書いてありましたね、わたしたちが住む地球は水でおおわれていたんですね。神様は、下の水と上の水をわけるために、大空をつくられました。大空の上にも、見えないけど水があったんですね。まんなかにも、大空があつて。下の水はこのあと海になるわけ。おもしろいですね！

神様は、大空を天と名づけられました。これが第二日。わたしたちは神様を天のお父様と呼ぶけど、その天をつくられたのも神様。なんて偉大なお方なのでしょう。

いの祈り

天のお父様、あなたは天におられるだけでなく、天をつくられたお方です。すばらしいあなたをほめたたえます。

4月26日（水）

聖書
聖句

創世記1・9～13

「地は植物を、種のできる草や、種
の入った実を結ぶ果樹を、種類ごと
に地の上に芽生えさせよ。」 11節

さあ、第三日です。神様は「天の下の水」が
あるところに、かわいた地をつくられました。
そして陸と名づけられました。水のほうを、こ
こで正式に海、と名づけられました。陸と海が
ここでわかれたんですね。

ここで神様は地に命じられました。いろんな
植物を生やしなさい、果物になるようにしなさい！
って。すると地は神様の命令にこたえて、
たくさんの植物を生やしたのです。神様がつく
られたすべてのものは、神様の命令とみこころ
に従うようにつくられているのです。

いのちの祈り 天のお父様、地があなたのご命令に従
たとはおどろきです。わたしもあなたのみ
こころに従っていきますように。

4月27日（木）

聖書
聖句

創世記1・14～19

大きいほうの光る物には昼を治めさ
せ、小さいほうの光る物には夜を治
めさせた。また星も造られた。 16節

神様は、季節、日と年のしるしとなるよう
に、二つの大きな光をつくられました。大き
な光は、昼にかがやく太陽。小さな光は、夜
にやさしく光る、月。月といっしょにかがや
く、たくさんの星もつくられました。

太陽、月、星に神様があたえられた役わり
は地を照らすこと。昼は太陽にまかせますよ、
夜は月と星たちにまかせますよ、って。治め
させるって、そういうこと。神様は、つくら
れたものに役わりをあたえられるのです。

これが第四日。

いのちの祈り 天のお父様、あなたが太陽、月と星をつ
くられたことを信じます。わたしもあたえら
れている役わりをはたせますように。

4月28日（金）

聖書
聖句

創世記1・20～23

「水には生き物が群がれ。鳥は地の上、
天の大空を飛べ。」 20節

神様はつくられた海の中に、水の中で生きる
いろんな生きものをつくられました。魚や貝と
か、大きなクジラとか、たくさん。そして、大空
を飛ぶ、翼の生えた、いろ～んな鳥をつくら
れましたよ！

第五日に、神様は生きものをつくられたので
すね。海は、水の中の生きものがすむ場所とし
て、大空は、鳥たちが飛ぶ場所として、さきに
つくられてから、次に生きものをつくられたの
です。神様はちゃんと順番を考えるお方。神様
の考える順番にまちがいはないんです。わた
したちは、よくまちがえますけど…。

いのちの祈り 天のお父様、あなたはちゃんと順番を考
えて生きものをつくられました。あなたの
お考えをもっと信頼していきます。

4月29日（土）

聖書
聖句

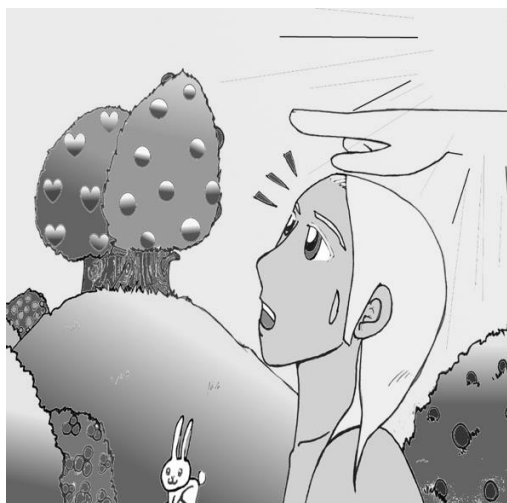
創世記1・24～31

神はご自分が造ったすべてのものを
見られた。見よ、それは非常に良かった。
31節

第六日。神様は、地に住む生きものをつくら
れました。家畜や、地面をはいまわる生きもの、
数えきれないほどの種類です。そして、そのさ
いごに、ついに人をつくられたのです！

このように神様は六日間で世界をつくら
れました。神様がつくられたすべてのものを見ら
れたとき、それはかんぺきな世界でした。神様
は、すばらしい！と大満足されました。美し
い自然をみて、感動することがありませんか。
それは神様がつくられたからです。神様がつく
られたものは、すばらしい。あなたもね！

いのちの祈り 天のお父様、すばらしい天地をつくられたあ
なたを信じます。わたしをつくられたあなた
を、心からほめたたえます！



聖書
テーマ
暗唱聖句

創世記2・15～17、3・1～7
罪の始まり
善悪の知識の木からは、食べてはならない。その木から食べるとき、あなたは必ず死ぬ。

創世記2・17
目標
罪が不信仰から生まれることを知り、み言葉に信頼し、従う者となる。

4月30日（日）

聖書
聖句

創世記2・16～17
善悪の知識の木からは、食べてはならない。その木から食べるとき、あなたは必ず死ぬ。 17節

神様は、わたしたちをロボットのように、なんでも命令すればその通り動くものとして造られませんでした。だから自分で神様を愛し、神様の言われたことを「選ぶ力」があるんだね。

また、神様は「必ず悪い結果になる」ことについては、はじめからよくよく注意なさいます。それは神様が、わたしたちを心から愛してくれているから。そして、わたしたちがきつと、神様の喜ぶ生き方を選んでくれると信じてくれているからだね。あなたはどうかたえますか？

注意深く、良いほうを選べるといいね！

いの
祈り

天のお父様、あなたが喜ばれる生き方を注意深く選んでいけますように。

5月1日（月）

聖書
聖句

創世記2・15
神である【主】は人を連れて来て、エデンの園に置き、そこを耕させ、また守らせた。 15節

生きている場所、お世話してくれる家族がいること、「わたし」という人間がうまれたこと、ぜんぶ当たり前だと思う？ いいえ。

神様は、この世界をつくるとき、光も暗闇も、空気も、美しい水や、森の木やそこになる実、小さな生き物、大きな生き物も造って、その用意が全部できてから、人間を、特別な場所において、また、おしごとにもくくださったんだね。

みんなもそう。あなたがそこに生まれてもよい準備をし、あなたにしかできないことをくださって、生かしてくださってるよ！

いの
祈り

天のお父様、すべてをととのえて、この地球に生まれさせてくださって感謝します！

5月2日（火）

聖書
聖句

創世記3・1～2
さて蛇は、神である【主】が造られた野の生き物のうちで、ほかのどれよりも賢かった。 1節

あるとき、エバの前にヘビが現れたって。ただこのヘビ、ふつうのヘビではなかったね。すべての生き物は、神様が造られた良いもののはずだったけど、中でもかしこいヘビを利用したのが「悪魔」だったんだね。どうりで話しかけてくるわけだ。

悪魔はね、ときどき、そうやって姿を変えながら、人の前にあらわれては、やさしい声で、話しかけてくるのがあつんだ。あなたが神様からはなれるように、失敗するように。

いの
祈り

天のお父様、悪魔を見分ける心をください。また悪魔の力からお守りください。

5月3日（水）



創世記3・3

『あなたがたは、それを食べてはならない。それに触れてもいけない。あなたがたが死ぬといけないからだ』と神は仰せられました。 3節

人間てほんとにふしぎ…。神様が「絶対ダメ」「必ず、きっと死ぬ」って言っても、「え～そうだったけ？」「わたしだけは大丈夫なんじゃない？」と思っちゃうんだもの。

あなたは、神様のおことばを、どれくらい真剣に、正確に、受け取ってますか？

やっぱり、エバといっしょくらいかも…。もっと本気になって、真剣に、神様がわたしに何を願っているか、言っているか、心から聞いていたがいませんか？

祈り 天のお父様、あなたがだめだと言われることをもっとしっかり受け止められますように。

5月4日（木）



創世記3・4～5

それを食べるそのとき、目が開かれて、あなたがたが神のようになって善悪を知る者となることを、神は知っているのです。 5節

悪魔は、人をだまして神様から遠く遠くはなしてしまう天才です。神様よりも、もっと魅力的だよと、いろんなものを目の前でチラチラさせたり、「神様がこう言っているよ」と言いながらそをついて信じこませたり。

そうやってだれかが罪をおかすとき、神様に勝ったような気分になって喜んでいる、とても危険な存在です。

「悪魔にはしたがない！わたしは神様にしがいます」という、はっきりした気持ちがたいせつだね。

祈り 天のお父様、あなたから、ぜったいぜったいはなれませんか！

5月5日（金）



創世記3・6

女はその実を取って食べ、ともにいた夫にも与えたので、夫も食べた。 6節

やってはいけないことをしたとき、「あの人が悪い」「あれのせい」と言い訳をしない？エバも、自分がしたことが心の中ではいけなかったとわかっていたはず。それなのに、「神様ごめんなさい」と言うのではなく、となりにいたアダムにも同じことをさせてしまったのです。

悪いことを何人かでやれば、悪いことの重さは軽くなるのでしょうか？いいえ、ただ、悪いことが広がってしまった、それだけです。

罪をおかしてしまったそのときに、なるべく早く取り除かなければならないのです。

祈り 天のお父様、罪をだれかのせいにしたりせず、早くあなたに「ごめんなさい」と言えるわたしにしてください。

5月6日（土）



創世記3・7

ふたりの目は開かれ、自分たちが裸であることを知った。 7節

神様はね、この世界も人も、ありのままですばらしい！と思っただけでよかったよね。でも、今のわたしたちはどうだろう？このアダムとエバみたいに「わたしを見ないで」「はずかしい」と自分をかくさないではいられないよね。神様がくれた、ほんとうの人間の姿を美しいものでなく、恥ずかしいものに変えてしまう…これが罪の怖いところなんだね。

神様に、どこを見られても「ありのままの自分」でいられるために、罪を解決しなきゃいけないんだね。イエス様が必要だね！

祈り 天のお父様、「すばらしいありのままの自分」になるために、イエス様がきてくれたことを感謝します。



聖書
テーマ
暗唱聖句

創世記3・6～19

罪の結果

罪の報酬は死です。

ローマ 6・23

目標

罪の結果の恐ろしさを知り、罪を悔い改める者となる。

5月7日（日）

聖書
聖句

ローマ 6・23

罪の報酬は死です。23節

人間だから、病気や事故や、年を取ったら、いつかは必ず死ぬよね。でもそれは、ただ体が死ぬというだけのことで、聖書が言う「罪による死」は、もっと深い意味があるんだ。

体が死ぬとお葬式をして骨になってお墓に行くけど、そうなっても神様の前にいく「自分はいる」んだ。そして、その自分は生きていた間、イエス様と出会って、神様に罪を赦してもらったかどうか、永遠に生きる命をもらったかどうか、調べられるんだ。もしそうでなければ「永遠に死ぬ」ということが起きるんだって。

あなたは、いつ、自分の命が終わってもいようにじゅんびできていますか？

祈り

天のお父様、いつか死んでも、天国に行けるように、イエス様を信じます。

5月8日（月）

聖書
聖句

創世記3・8～10

あなたはどこにいるのか。

9節

「罪」という感覚、持っていますか？今は毎日地球のどこかで、平気で盗んだり、いのちをたいせつにできなかったり、殺したり、そんなことが山ほど起きているよね。

でもきっと、アダムとエバがそうだったように、そういう人は胸をはって、堂々と生きてはいけないだろうね。罪というのは、どんなに小さくても、「神様から逃げたい」「隠れたい」と思わせてしまうものなのだから。

神様は、そんな人に向かって今も「あなたはどこにいるの」と声をかけ続けておられるだろうね。やっぱり、罪はないほうがいいね。

祈り

天のお父様、あなたの前でも、人の前でも胸をはって生きていける「罪のゆるし」を体験させてください。

5月9日（火）

聖書
聖句

創世記3・11～13

あなたは何ということをしたのか。13節

「ちがうもん」「あいつが悪いもん」きっとあなたも言っちゃう言葉じゃない？アダムとエバも、神様の前では隠せることはひとつもないのに、だれかのせいにしてばかり。

「だってしょうがないじゃないか。悪く思われたくないもん」ではなく、「それは罪だよ」と言われたとき、すなおに「ごめんなさい」とおわびできるあなたになってください。

だれも見えていなかったとしても、神様はいつもあなたを見ておられることを忘れないでね。

祈り

天のお父様、いつも見ておられるあなたの前に、すなおな心で生きていけるわたしにしてください。

5月10日（水）

聖書
聖句

創世記3・14～15

彼はおまえの頭を打ち、おまえは
彼のかかとを打つ。 15節

人に罪をおかせ、神様に勝った気持ちになつた悪魔に、神様のきびしいお言葉。これから先、人と悪魔が戦うことになるけれど、やがて、イエス様が悪魔の頭をふみつぶす日が来る。悪魔はその、かかとにかみつくことしかできないんだから、完全に負けたってこと！

人は、世界の初めから神様をうらぎっておいでごめんなさいも言えなかったのに、神様のほうは、人のために、悪魔に勝つ「救いの道」を約束してくれただ。

その神様に、あなたはどうかたえますか？

いの
祈り

天のお父様、世界のはじめから、失敗ばかりのわたしたちに、イエス様を与えと約束してくださり、ありがとうございます。

5月11日（木）

聖書
聖句

創世記3・16

あなたは苦しんで子を産む。また、あなたは夫を恋慕うが、彼はあなたを支配することになる。 16節

あなたは悪いことをしたとき、その責任をとっていますか？ 神様も、エバ（女）のしたことを全部悪魔のせいにはしていません。

エバが神様との約束をやぶったので、女に生まれた者は、赤ちゃんを苦しんで生むこと、平等な立場だったはずの男に支配されるようになってしまうと、神様は言いました。

だから、女は男より弱く、なんだか不公平だよ、という世界に変わってしまったんだね。それも罪の結果起きた悲しい出来事です。

いの
祈り

天のお父様、罪ということがいろんな結果になってしまうことを知りました。罪の責任についてもっと考えます。

5月12日（金）

聖書
聖句

創世記3・17～18

大地は、あなたのゆえにのろわれる。あなたは一生の間、苦しんでそこから食を得ることになる。 17節

エバがしたことを止めず、いっしょに神様の約束をやぶったアダム（男）も罰を受けました。

男は、この地球を管理する力と働くという祝福をもらったはずなのに、その「働く」ということがしんどく、苦しいものになる、と神様は言われました。それだけではありません。

人間が、この世界で神様よりも悪魔に従ってしまったために、生きている場所、地球が呪われてしまったのです。

この地球がこんなにも生きづらい場所になったのは、そのためだったんだね。

いの
祈り

天のお父様、罪の結果から、人も地球も救いだしてください。

5月13日（土）

聖書
聖句

創世記3・19

あなたは、顔に汗を流して糧を得、ついにその大地に帰る。 19節

この呪われた地球と体で、永遠に生き続けなければならないとしたら、それほどつらい悲しいことはないんじゃないかな？

だから神様も、罪だらけの世界で人が永遠に生き続けることがないように、人生の終わりをくださったんだね。

そして、今度は罪のない世界で、永遠に生きるために、この人生でイエス様と出会う、罪から救うチャンスをくれているんだ。

ただ苦労だけして死ぬ人生でなく、新しい永遠の希望を、いま受け取ろうよ！

いの
祈り

天のお父様、生きている間に、イエス様を信じて、永遠の命の希望いっぱいにしてください。

はは ひ
母の日



聖書
テーマ
暗唱聖句

出エジプト 20・12～17

父と母を敬え

あなたの父と母を敬え。

出エジプト 20・12

目標

両親を敬い、大切にする。

5月14日(日)

聖書
聖句

出エジプト 20・12

あなたの父と母を敬え。

12節

ルールってなんであるんだろ？ きゅうくつ
だなあ…って思ったことある？ ルールを作ら
なくても、みんなが当たり前のことをちゃんと
守れていたならルールはいらないだろうね。でも
心に罪をもった人間は自分勝手に、当たり前
のこともできないのです。

神様は、どうやったらみんなが幸せである
か知っているから、ルールを作ってくれたんだ。
ルールってたいせつなんだね！

人は人とかかわりながら生きているね。人と
人のいちばん小さい集まりは家族！「愛する」
「神様に従う」ってどういうことか？ を体
と心で学んでいく大切な場所なんだよ！

祈り

天のお父様、家族の中で、あなたのルー
ルから幸せになる方法を、体と心で
学べますように！

5月15日(月)

聖書
聖句

出エジプト 20・12

あなたの父と母を敬え。

12節

今は「家族」がこわれている時代だから、い
ろいろむずかしいけど、あなたが生まれてきた
からには、あなたには両親がいるということ。

親は、あなたをりっぱな大人に成長させるた
めに「育てる責任」や、「神様があなたを愛す
るように愛すること」を神様からまかされたの
です。そして、あなたには、あなたを育ててく
れる両親やだれかを大切に、従えているか
どうか、と聖書は聞いているのです。

親は子に、子は親に、どのように接している
か、神様はいつも見ておられるんだね。

おたがいのとる態度が神様への態度でもあ
る、ということを見ておいてね！

祈り

天のお父様、あなたを愛するように家族
や両親を愛することができますように。

5月16日(火)

聖書
聖句

出エジプト 20・13

殺してはならない。

13節

この地球にあふれる「命」のひとつひとつ、
神様が造られたことを知っている人は、それが
特別で、意味があって、美しいものだという
ことがわかるでしょう。でも、「命」のことを
そのへんにごろごろいるつまらない、ぐうぜん
生まれたものだとか考える人もいるんだ。

自分の気に入らない人に「死ね」とすぐ言え
てしまう、そうでなくても心の中で「いなく
なれ」と考えてしまう、それくらい命はちっ
ぽけなものなのか？ 考えてみよう。人が
操ったりうばったりしていい命はひとつも
ないよ。

命はすべて造り主、神様の手の中にあるこ
とを知っているあなたでいてください！

祈り

天のお父様、あなたのくださった命を
大切に生きる者としてください。

5月17日(水)



出エジプト 20・14
姦淫してはならない。

14節

「結婚」「夫婦」というのは神様のルールです。お父さんがいてお母さんがいるからそこに新しい命ができて家族になれるのです。そして、それは神様からの祝福です。

そこに、だれか知らない人が入りこんできて、お父さんかお母さんをうばったら、家族はこわれてしまうよね。でも今は、そのルールが人間の自分勝手にぐちゃぐちゃになってしまい、あの人が好きだわ、この人もいいわ、とだれがだれの子ともで親なのか、わからない時代になってしまいました。

ひとりの人も大切にできないのに、ただおひとりの神様を大切にできるはずがないよね。

いの

祈り 天のお父様、いつかわたしも、あなたの祝福の中で、ただ一人の人を大切にできる結婚をできますように。

5月18日(木)



出エジプト 20・15
盗んではならない。

15節

お店のものを盗んだことはなくても、いつもだれかが持っているものを「いいなあ」「ほしいなあ」なんてことはないかな？ そんな思いは、お母さんのおさいふから 100円こっそりもらったとか、お友だちのテストの答えをこっそり見たりとか、自分にせっかくもらった時間をだいなしにしてしまうとか、行いにあらわれることがあります。イエス様も、「人の内側にあるものが人を汚す」って言ってるよ。あなたの心の中や、行いはどうですか？ もし、問題があるなら、イエス様にお話しして、解決してくださいね。

いの

祈り 天のお父様、どんな小さな「ぬすみ」の罪からも、お守りください。心の中をイエス様によってきれいにしてください。

5月19日(金)



出エジプト 20・16

あなたの隣人について、偽りの証言をしてはならない。

16節

人は「ウソをついて生きなさい」と教えられてもいないのに、ウソをつく罪を持っているね。ひとつの小さなウソをかくすために、中くらいのウソをつき、それをかくすためにもっと大きなウソをつき、どんどん大ウソつきになっていってしまう、それは悲しいね。もし、人にばれることがなかったとしても、神様は、それを見つけて知っておられます。神様は「心を見る」お方です。あなたの口は、神様を賛美するために、神様を伝えるためにあたえられたもの！ 自分の口や言葉をどう使うか、考えてみてください！

いの

祈り 天のお父様、ウソにウソを重ねて生きるのではなく、あなたを賛美する口でありますように。

5月20日(土)



出エジプト 20・17

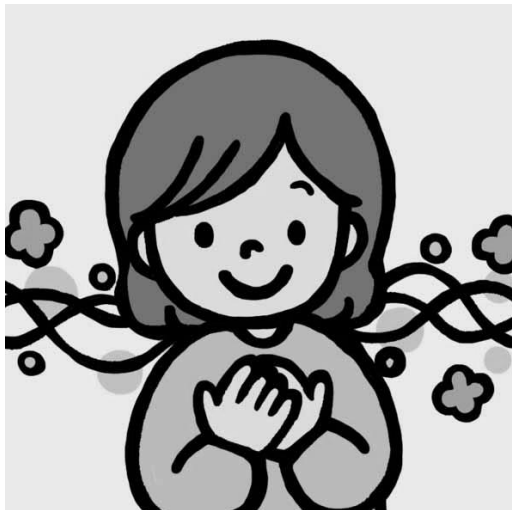
あなたの隣人の家を欲してはならない。

17節

「盗む」お話とにているけど、「いいなあ」「うらやましいなあ」「ほしいなあ」と思うことあるよね？ なんか、自分が持っていないものを、ほかの人は全部持っているように感じちゃうんだね。でも、ほんとにそうかな？ 自分が持っていないものをぶつぶつ言う前に、自分が神様からあたえられたものをかぞえてごらん。「今日も元気で過ごせた」「学校に行けた」「ごはんが食べられた」「神様に愛され、ゆるされている」たくさんあると思うよ！ そう、今あなたに必要なものは全部あたえられているのです。神様に感謝しようね。

いの

祈り 天のお父様、今日もあなたの恵みをたくさんいただいていることを感謝します。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 5・1～12

さいわいな人
心の貧しい者は幸いです。天の
御国はその人たちのものだから
です。

マタイ 5・3

目標

真に幸いな生涯の秘訣を知る。

5月21日（日）

聖書
暗唱聖句

マタイ 5・3

心の貧しい者は幸いです。天の
御国はその人たちのものだからです。
3節

イエス様は、ご自分を信じる人たちのしあわせを心からねがって、たくさんのおしえてくれたよ。どんな人がしあわせなんだろう？
神様をしらない人たちのしあわせは、自分が成功したり、だれかに「すごいね！」って思われることみたい。でも、そういうしあわせは、死んでしまえばおしまいだし、それを神様がくれたものだと知らないんだ。ざんねんだね…。

すべてのものは神様がくれること、どんなときも神様がたすけてくれることを知っている心の人が、しあわせな人だよ。だってそのしあわせは天国につづいているもんね！

祈り

天のお父様、天国につづくしあわせを持って生きていけますように。

5月22日（月）

聖書
暗唱聖句

マタイ 5・4～5

悲しむ者は幸いです。その人たちは
慰められるからです。4節

悲しんでるのにしあわせ？ イエス様のおしえはときどきあべこべに聞こえちゃうかな？

この悲しみはね、心の中にある罪のこと。今まで神様にさからって自分かたに生きてきたことがわかるとき「神様、ごめんなさい」と、罪をおわびする心に変えられていくよね。

神様にしか赦すことのできないこの罪を、悲しんでおわびできる心の人は、赦され、よろこばれ、天国ゆきの新しい命をもらって歩きだせるよ！ このしあわせはどこにもないね。

祈り

天のお父様、どんな小さな罪も、そのままにしておかないで、あなたにおわびできる子どもにしてください。

5月23日（火）

聖書
暗唱聖句

マタイ 5・6

義に飢え渴く者は幸いです。その人たちは満ち足りるからです。
6節

わたしたちが「あれほしい！ これも！」って思うのは、おなかがすいたときや、自分が持っていないものをだれかが持っていたときかな？ でもね、今おはなししているのはそんなものじゃなく、神様の正しさを言ってるんだ。

「神様に赦されて神様の子どもでいたい！ 神様によろこばれたい！」と心から思い、しんけん（しんけん）に神様に聞き従うとき、あなたの心や生き方が、イエス様のような、神様によろこばれる人に変えられていくよ！ やった～！！

祈り

天のお父様、心や生き方が変えられて、イエス様のようにあなたによろこばれる人になってください。

5月24日（水）



マタイ 5・7

あわれみ深い者は幸いです。その人たちはあわれみを受けるからです。
7節

あなたの心が、どんな大きな罪を持っていたとしても、神様は赦してくださるお方です。だって、あなたを愛し、永遠に滅びなくてもいいようにと、あなたの罪の代わりに、ひとり子イエス様を十字架につけてくださったでしょう。神様のあわれみはこんなに大きいんだ！だから、心からそのことがわかったなら、「自分が神様に赦されたように、自分もだれかを赦す」人になろうね。祝福があふれるよ！

いの

祈り 天のお父様、イエス様を身代わりにするほど、わたしを愛し、あわれんでくださり感謝します。わたしも、人を愛し、ゆるせる人になってください。

5月25日（木）



マタイ 5・8

心のきよい者は幸いです。その人たちは神を見るからです。
8節

人間が見ることができるのは、人のすがたややっていることだけ。でも、神様は、そんなことであなたが良いか悪いかを決めないで、いつもあなたの心の中を見ているんだ。

でも、人間のどりよくでは、心の中の罪はきれいになることはありません。

心の中に、あなたの罪の身代わりに十字架にかかってくださったイエス様がいますとき、神様はあなたを「心の清い人」と言われるんだ。イエス様が心の中にいるしあわせ！

いの

祈り 天のお父様、わたしも自分の罪を自分ではなくせません。でも、この罪のために十字架についたイエス様が、今日も心の中にいてくれるからしあわせです。

5月26日（金）



マタイ 5・9

平和をつくる者は幸いです。その人たちは神の子どもと呼ばれるからです。
9節

イエス様がわたしたちに愛やゆるしをくれたから、わたしたちの心の中はとても平和です。でも、あなたのまわりを見てみて。罪をかかえて苦しんでいる人、悲しんでいる人、きずつけ合っている人はいませんか？

ただ「かわいそう」と思うだけではなく、出て行って、イエス様がくれた、愛や、なぐさめや、はげましや、希望をとどけてみませんか？

わたしたちは平和をつくる人にされた、神の子どもね！

いの

祈り 天のお父様、わたしも、イエス様がくれたたくさんのものをとどける、平和をつくる人になってください。

5月27日（土）



マタイ 5・10~12

義のために迫害されている者は幸いです。天の御国はその人たちのものだからです。
10節

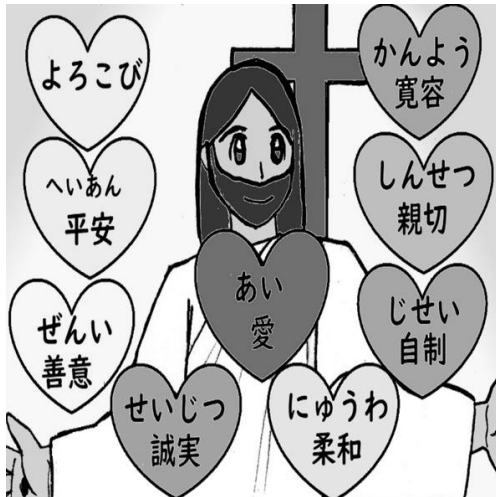
神様を信じる人とそうでない人の生き方やかんがえ方はぜんぜんちがうね。そして、神様に従って生きるとき、まわりの人から苦しめられることがたくさんあるんだ。

でも、悲しんじやいけないし、神様を信じることをやめちゃいけない！だって、神様を信じて生きぬいた人には「天国」というゴールがあるんだもの。罪や、永遠の滅びにむかう生き方からはなれて、さいこうのしあわせがある天国めざして生きていこうね！

いの

祈り 天のお父様、わたしも、どんなことがあってもあなたを信じて生きます。天国に行けることほどしあわせなことはありません！

ペンテコステ



聖書
テーマ
暗唱聖句

ガラテヤ 5・16～26

聖霊の実

御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。ガラテヤ 5・22、23

目標

御霊の実を結ぶ者となる。

5 月 28 日 (日)

聖書
聖句

ガラテヤ 5・22～23

御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。

22～23節

今日は、心の中をてんけんする日になったかな？ どうだろう？ 心にいつもイエス様がいる？ 家族や友達といっしょにいると似てくると、イエス様に似てきたかな？

聖霊のパワーをいっぱいもらって、神様もみんなも自分もなっとくする良い実を实らせたね。そのためには、何かいっしょうけんめいになってよい子でいようとするのではなく、「イエス様からずっとはなれない」ことのほうがずっとたいせつだよ。

いの
祈り

天のお父様、イエス様からはなれることがないようにお守りください。あなたにも人にもよろこばれる御霊の実を实らせることができますように。

5 月 29 日 (月)

聖書
聖句

ガラテヤ 5・16

御霊によって歩みなさい。そうすれば、肉の欲望を満たすことは決してありません。16節

わたしたちのまわりにはたくさんのルールがあるよね。学校のルール、スポーツのルール、自転車や自動車を運転するルール…。どれもわたしたちを安全に守ってくれるものです。

そして、聖書には、イエス様を信じて神様の子どもになったあなたへのルールがあるね。

そう。御霊によって歩くこと！ これが、あなたを罪から守り、悪魔に勝ち、神様によろこばれるためにひつようなことなんだよ。

いの
祈り

天のお父様、罪や悪魔からわたしたちを守るために、「御霊によって歩く」という御霊のルールをくださりありがとうございます。

5 月 30 日 (火)

聖書
聖句

ガラテヤ 5・16

御霊によって歩みなさい。16節

聖書は、あなたに御霊を持っていなさい、ではなくて、御霊によって歩きなさいって言うね。どういうことかわかるかな？

たいせつなプレゼントも、もったいなくてしまっているだけじゃなんの意味もないよね。それを使うとき、はじめてプレゼントのすばらしさがわかるんだ。

神様がくれる御霊はね、使えば使うほどあなたを変え、まわりの人を変える力があるんだ。罪に勝ち、神様によろこばれる人になることができるんだよ。御霊によって歩こう！

いの
祈り

天のお父様、持っているだけの御霊ではいけないことに気づかせてくださり、ありがとうございます。

5月31日（水）

聖書
聖句

ガラテヤ5・17～18

肉が望むことは御霊に逆らい、御霊が望むことは肉に逆らうからです。
17節

神様を信じている人の心の中にも、神様に喜ばれたい思いと、悪いことだとわかっているのに自分勝手にしたい思いとがあります。

神様はね、一人では罪に勝てないあなたが罪をおかさなくてもいいように御霊をくれたよ。

あなたにひつようなのは御霊が罪に勝つための武器だ」って知っていることだね。つまり、こんなとき神様はどう思っているのかな、を知っていることじゃないかな？

まだいい子でなかったわたしたちを丸ごと受け入れて、御霊によって成長させてくださる神様に感謝しようね！

祈り

天のお父様、御霊によって罪に勝たせてください。

6月1日（木）

聖書
聖句

ガラテヤ5・18

御霊によって導かれているなら、あなたがたは律法の下にはいません。
18節

御霊の人って？ 自分でがんばってルールを守る人？ 努力して自分を良くしようとしている人？ いえいえ。ちがうみたいだよ。

ルールばかり気にしている人の心には喜びがなくて、自分にだけじゃなくて、お友達にもきびしくなっちゃうね。

ルールにおさえつけられた人は、その心まで変えられないけれど、御霊の人の心には、いつもイエス様がいて、心から喜んでイエス様といっしょに生きてゆけるんだ。やった～！

祈り

天のお父様、わたしも自分でがんばって実を結ぶ人ではなくて、心から喜んでイエス様といっしょに生きていく御霊の人にしてください。

6月2日（金）

聖書
聖句

ガラテヤ5・19～21

このようなことをしている者たちは神の国を相続できません。21節

神様を知ってイエス様に新しい命をもらったあなたは、もうちゃんと御霊をいただいているけれど、もしそうでなかったらどんな自分になっていたろう？

世界には、神様はいないと言ったり、別の神様を拝んだり、自分が神様であるかのような生き方をしている人もいっぱい。聖書はそれを「肉の人」と言い、そんな人生のままでは「神様の国に入ることがない」と宣言しています。

信じただけで御霊をもらって神様の国に向かえることは、なんて大きな恵みだろうね！

祈り

天のお父様、世界中の、あなたのことを知らない肉の人が、御霊の人に変えられていきますように。

6月3日（土）

聖書
聖句

ガラテヤ5・24

キリスト・イエスにつく者は、自分の肉を、情欲や欲望とともに十字架につけたのです。
24節

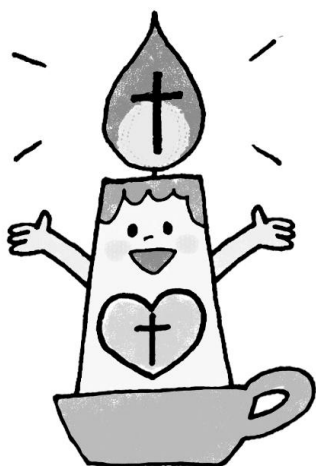
イエス様の十字架を心にうけ入れたときのこと、おぼえてるかな？ そのとき、自分の「してきた罪」がゆるさされただけと思う？

本当はね、それだけじゃなくて、あなたが「生まれたときから持っている罪の心」もいっしょに処分しました！ って言ってるんだ。

もし、悪魔が「それ、やっちゃいなよ」ってあなたの心にささやくときには言ってください。「わたしは罪をおかさない人につくりかえられました！」ってね！

祈り

天のお父様、イエス様の十字架の力を信じます！ 御霊の助けで、悪魔の誘惑にも勝たせてください！



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 5・13～16

地の塩・世の光

あなたがたは世の光です。

マタイ 5・14

目標

地の塩、世の光として生きる。

6月4日（日）

聖書
聖句

マタイ 5・14

あなたがたは世の光です。 14節

真っ暗なお部屋にゴミが落ちていても見えないけど、光がついて明るくなるとゴミが見えて、お片づけできるね。それと同じで、神様を知らずに生きている人たちの心とこの世界は、罪のゴミで真っ暗だけど、わたしたちの心は罪のゴミがかたづいてとってもきれい！そして、心を照らしてくれるイエス様がいつもいっしょ。

あなたが神様の言うことをきいてすごすとき、心がかがやき、まわりにいるお友達は、「君の信じている神様ってすごい！心がきれいってすごい！」ってびっくりするよ！

いの
祈り

天のお父様、わたしたちを世の光にしてください感謝します。もっともとかがやけますように！

6月5日（月）

聖書
聖句

マタイ 5・13

あなたがたは地の塩です。 13節

わたしたちの体は、塩がないと生きられないって知ってる？それに、おにぎりやポテトチップスがあんなに美味しいのもお塩のおかげ。あとね、塩がついてるとくさらない！目に見えないけれどちゃんと働いてるんだね！すごいな塩！

イエス様はあなたも、人のために働く塩だって言ってるよ。あなたがいなきゃこまる！あなたがいるだけでみんなが悪魔というばい菌から守られたり、みんなの美味しいところ、すばらしいところをだしてあげる！そんな塩みたいなあなたでいてくださいね。

いの
祈り

天のお父様、わたしも、まわりの人を悪魔から守り、すばらしいところをひきだせる、塩のような人になってください。

6月6日（火）

聖書
聖句

マタイ 5・15～16

人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようになるためです。 16節

神様がすばらしい愛の神様だってこと、どうすればみんなにつたわるかなあ？

「神様はすごいよ」って言うことも大切。でもね、言うだけで終わっちゃいけないよね。

聖書は、「それは、あなた！」って言ってるよ。神様から愛され、赦され、新しい命で生きているあなた、神様の愛をいっぱいもらって、知っているあなたが、今度はお友だちや家族に、神様からもらった愛をあげていく番なんだ。

そのときはじめて、「あなたを変えてくれた神様は本物だね」ってつたわるようになるね！

いの
祈り

天のお父様、わたしも、あなたが愛のお方であることを、自分のおこないでつたえていけますように。

6月7日（水）

聖書
聖句

コロサイ 4・6

あなたがたのことばが、いつも親切
で、塩味の効いたものであるように
しなさい。 6節

上手に味付けされたお料理を食べると、とっ
てもうれしく楽しい気もちになるでしょ！ そ
れからお母さんがあなたのことを考えて、バ
ランスよく作ってくれるお料理は、あなたを
健康にしてくれるね。

それと同じで、あなたの話す言葉にも味付け
ができるの！ どんな風にお料理したらおいし
くなるか考えるみたいに、どんな風にお話し
たら、お友だちや家族の人が喜ぶか、傷つか
ないか、元気になるか、言いたいことがつたえ
られるか、よく考えてから話そうね。

いの 祈り 天のお父様、みんなに話すとき、まずい
言葉ではなく、おいしく味付けされたこ
とばで話せますように。

6月8日（木）

聖書
聖句

ヨハネ 8・12

わたしは世の光です。わたしに従
う者は、決して闇の中を歩むことが
なく、いのちの光を持ちます。 12節

懐中電灯やお部屋の電気をつけると、明る
くなって安心するね。でも、懐中電灯も電気も、
電池がなくなると消えてしまうんだ。それと同
じで、心がいつも輝いているには、イエス様
が必要なんだ。だって、わたしたちを、罪と地
獄に向かうまっ暗な道から救い、心を明るく
照らしてくれるのは、イエス様だけだから！

イエス様といつもいっしょに歩み、イエス様
が聖書から教えてくれる言葉を聞いて行
う、光の子どもでいようね。

いの 祈り 天のお父様、心を照らしてくださるイ
エス様といつもいっしょに生きてゆけ
ますように。

6月9日（金）

聖書
聖句

I ヨハネ 2・10

自分の兄弟を愛している人は光
の中にとどまり、その人のうちには
つまずきがありません。 10節

教会に新しいお友だちが来たときに、あな
たと、教会に来ているほかの友だちが、ケン
カしたり悪口を言ったりしたら、新しいお友
だちはきっとあなたたちにも教会にもがっか
りするだろうね。

「神様を信じているよ」と言っていて、お友
だちと仲良くしないなら、あなたは光の子ど
もではないよ、と聖書は言っています。イエス
様はあなただけでなく、みんなも愛してくださ
います。イエス様のように、まわりにいるお友
だちをたいせつにする光の子どもでいようね。

いの 祈り 天のお父様、自分の好きなお友だちだけ
でなく、ほかのお友だちもたいせつにす
る、光の子どもでいさせてください。

6月10日（土）

聖書
聖句

エペソ 5・8～9

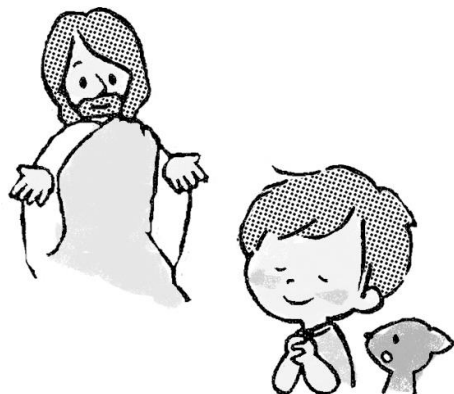
光の子どもとして歩みなさい。
あらゆる善意と正義と真実のうちに、
光は実を結ぶのです。 8～9節

神様の子ども、いつもイエス様といっしょに
歩いている光の子どもの中には、だれにでも
親切な良い心と、悪い事をきらい正しい心と、
うそをつかない正直な心の実になるんだ！

いつもいつでも光の子どもでいるために、
毎日、心の中を自分でぞいてごらん。親切
じゃない心、悪い事を考える心、うそつき
の心の実がなくなっていくかな。そういう心の
実がなりそうとき、神様に「ごめんなさい」
をして、きれいな心の実をつけてもらおうね。

いの 祈り 天のお父様、この心の中にはときどき
悪い実がなりそうになります。きれいな
心の実をつけてすごせるように、悪い
心の実をとってください。

はな ひ
花の白



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 6・7～13

主の祈り

御国が来ますように。みこころが
天で行われるように、地でも行
われますように。 マタイ 6・10
意味を知って「主の祈り」をささ
げる者となる。

目標

6月11日(日)

聖書
聖句

マタイ 6・7～8

あなたがたの父は、あなたがたが求
める前から、あなたがたに必要なもの
を知っておられるのです。 8節

今週は、イエス様が教えられた「主の祈り」
を学びます。祈りは、同じことをダラダラなが
く祈ればいいものではありません。たとえ短くても、
しんけんに心をこめて祈ることが大切です。

イエス様は言われました、「神様は、あなたが
たが祈る前から、必要なものを知っておられ
る」。え、じゃあ、祈らなくてもいいんじゃない？
いいえ、自分のお願いを祈ることだけが
祈りではないんですよ。「主の祈り」をとおし
て、わたしたちが本当に祈るべきことを学びま
しょう。短くても、いちばん大切なことが
ぎゅっとつまっています！

祈り 天のお父様、わたしが本当に祈るべきこと
を教えてください。

6月12日(月)

聖書
聖句

マタイ 6・9

天にいます私たちの父よ。御名が聖
なるものとされますように。 9節

わたしたちは「天のお父様！」と神様に呼びか
けますね。それは、「全宇宙を治めておられる、わ
たしたちのお父さん！」と呼んでいるのです。
世界中の人が、天のお父様だけをほめたたえます
ように！ という祈りです。これが、イエス様が
ちばんはじめに教えてくださった祈り。

わたしたちの周りには、天のお父様以外の、人間
がつくった偶像を拝む人がたくさんいます。聖書
以外のまちがった教えを信じる人たちもいます。
天のお父様はどんなに悲しんでおられること
でしょう。だからこそ、わたしたちが、まずいちば
んに祈るべきことなのです。

祈り 天のお父様、あなただけがほめたたえられ
ますように、世界中の人々が、あなただけ
を礼拝しますように！

6月13日(火)

聖書
聖句

マタイ 6・10

御国が来ますように。みこころが天
で行われるように、地でも行われま
すように。 10節

次は、神様だけが治める国が早くきますよう
に、そして神様のみこころが、この地上で行わ
れますように！ という祈りです。わたしたちの
心を神様が治めてください、わたしたちを通し
て、みこころを行ってください！ という意味
もあります。

わたしたちが住んでいるこの地上は、神様が
悲しまれる罪でいっぱい。ですから、この祈り
は本当に大切な祈りなのです。神様が治めてく
ださる国とみこころが、わたしたちから広がっ
て行くように祈りましょう。

祈り 天のお父様、わたしたちの心を治めてく
ださい。わたしたちを通して、神様の治め
る国とみこころが広がりますように。

6月14日（水）



マタイ 6・11

私たちの日ごとの糧を、今日もお与えください。 11節

次は、わたしたちに必要なものを求める祈りです。毎日のお食事、着る服、住む家、など。わたしたちが食べるご飯や着る服は、あるのが当たり前ではありません。たとえば、地震がきたり、火事になったりしたら、何もかもなくなってしまう可能性が誰にでもあるでしょう！

すべてのものは、わたしたちの必要を知っておられる神様が与えてくださっているのです。それがわかると、この祈りの大切さもわかりますね。神様に心から感謝し、わたしたちにとって必要なものを与えてください、と祈りましょう。

いの祈り 天のお父様、わたしたちの必要をいつも与えてくださり感謝します。これからも必要なものをとお与えください。

6月15日（木）



マタイ 6・12

私たちの負い目をお赦してください。 私たちも、私たちに負い目のある人たちを赦します。 12節

「負い目」というのは、ここでは罪のことを言っています。わたしたちの罪をゆるしてください、わたしたちも罪を犯した人をゆるします、という祈りです。

イエス様は命を捨てて、わたしたちをゆるしてくださいました。イエス様にゆるされた人は、ゆるされたことを感謝して、ゆるす人になるのです。怒りや憎しみだらけの世界のなかで、「ゆるします」と祈れるのは、なんとすばらしいことでしょう！ わたしたちがゆるされたことと、わたしたちがゆるすこと。これはいつもセットです。

いの祈り 天のお父様、イエス様がゆるされたように、わたしもゆるす人になれますように。

6月16日（金）



マタイ 6・13

私たちを試みにあわせないうで、悪からお救いください。 13節

この祈りは、わたしたちが嫌なことにあいませんように！ という意味ではありません。わたしたちを神様から引き離す悪い力から、守ってください！ という祈りです。かんちがいしやすいですが、自分にとって嫌なことにあうことがほんとうの問題ではないのです。ほんとうに問題なのは、神様から離れてしまうこと。

罪のゆうわくという悪い力は、いつも、わたしたちをおそってきます。自分の力に頼っていたら、あっという間にゆうわくに負けて、神様から離れてしまいます。だから、神様に頼って、まもっていただくように祈るのです。

いの祈り 天のお父様、神様から引きはなす悪い力から、どうぞおまもりください。

6月17日（土）



マタイ 6・7～13

御国が来ますように。みこころが天で行われるように、地でも行われますように。 10節

わたしたちは、自分のお願いを祈ることが祈りだと思いがち。でも、イエス様はわたしたちが本当に祈らなければならない「主の祈り」を教えてくださいました。教えられたすべての祈りのなか、神様のみこころだけが行われますように、神様のみこころをわたしたちに行ってください、という意味がこめられています。自分勝手な人の願いは、主の祈りにはありません。かんぺきなお祈りです。

これからは、主の祈りのほんとうの意味を考えながら、心をこめて祈っていきましょう。

いの祈り 天のお父様、これからは「主の祈り」をなんとなく祈らないで、心をこめて祈ります。

ちち ひ
父の日



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 5・43～48

天の父の愛

父はご自分の太陽を悪人にも善人にも昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからです。マタイ 5・45
天の父なる神の愛を知り、どんな人をも愛する者となる。

目標

6月18日（日）

聖書
聖句

マタイ 5・43～45

父はご自分の太陽を悪人にも善人にも昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからです。
45節

「お父さん、ありがとう！」と、父の愛に感謝する日は、毎年6月第3日曜日なのですが、今週は大きな広い豊かな天の父の愛を聖書から学び、私たちもそんな愛で互いに愛し合える神の子どもにされましょ。天の父は悪い者の上にも良い者の上にも同じように太陽をのぼらせ、雨を降らせてくださいます。そんな天の父に、どれだけの人が気づいているのかしらと思ってしまいませんか？

祈り 天のお父様、あなたの愛はあまりにも広すぎます！ あなたのこの愛にしっかり目が開かれ、伝えていきたいです。

6月19日（月）

聖書
聖句

マタイ 5・38～39

あなたの右の頬を打つ者には左の頬も向けなさい。 39節

天の父の広い広い愛に目が開かれていって、この父の子どもと生まれ変わってはじめて、イエス様が教えてくださることが実行できるのですね。もしかして、お友だちから右のほっぺたをパチンとぶたれたら、あなたも相手のほっぺたをパチンパチンとぶってしまいませんか？「天の父の子どもはそうはしないのだよ」と、イエス様は言われます。右の頬を打たれたら、左の頬も、「どうぞ」って出すのですって！こちらは気持ちいいし、相手は「気持ち悪」って？！

祈り 天のお父様、そうしてこそ、本当の勝利なのだ、あなたの愛による勝利なのだとなります。実行したいです。

6月20日（火）

聖書
聖句

マタイ 5・40

あなたを告訴して下着を取ろうとする者には、上着も取らせなさい。 40節

ユダヤの人たちにとって、昔、モーセの時代のころから、上着はとても大切なもので、たとえ、質に入れたとしても、夕方には返してあげなければなりません、神様の律法にさえ記されていたのです（出エジプト 22・26）。なぜなら、その上着を着て寝るからでした。寒い夜の毛布がわりだったのです。でも裁判で訴えてきた人が、下着を取ろうとするなら、下着はもちろん上着も与えなさいとイエス様は言われます。天の父の愛は徹底してますね！

祈り 天のお父様、昔の律法さえも超えてしまいうあなたの愛に圧倒されます。そのようにしてあなたの愛を示します。

6月21日（水）



マタイ 5・41

あなたに一ミリオン行くように強い
る者がいれば、一緒に二ミリオン行
きなさい。 41節

イエス様の時代、ユダヤの国はローマに支配
されていて、急に仕事をさせられることが多
かったのです。無理矢理一マイル（ミリオン）
先まで行きなさいと言われたら二マイルでも
行きますという心でいなさいというイエス様
の教えです。お父さんから、「あそこの店で買っ
てきて」と頼まれて、「いや！」「自分で行けば」
とか言いますか？ そうではなく、「ハーイ！
行って、買ってきますよ、他に買うものない？」
と言うのが二マイル精神ですよ。スマイルで
ね！

いの祈り 天のお父様、無理矢理、何か頼まれても、
いやがらないで、頼まれた以上のことを
喜んでできますように。

6月22日（木）



マタイ 5・42

求める者には与えなさい。借りよう
とする者に背を向けてはいけません。
42節

天の父の愛は、いつでも相手のことを思い、
相手の心を大切に、相手が望んでいることを
しっかり満足させてあげたいという、思いやり
いっぱい愛だということがわかってきません
か？ 自分のことしか考えられない人の心は
小さく貧しい、愛のない心なのですね。だから
求める人が求めてきたら、与えるのです。もち
ろん何を求めるかにもよりますが、借りたいと
いう人には、断らないで貸してあげなさいと言
われます。相手の人はどんなにか感謝でしょう。

いの祈り 天のお父様、あなたの愛にあふれた心が
わかってきて、とてもうれしいです。求め
る人の心にこたえてあげたいです。

6月23日（金）



マタイ 5・43~44

自分の敵を愛し、自分を迫害する者
のために祈りなさい。 44節

昔ユダヤ人たちは、「あなたの隣人を愛し、
あなたの敵を憎め」と言っていたようですが、
イエス様は、「自分の敵を愛し、自分を迫害す
る者のために祈りなさい」と言われました。こ
れこそ、父なる神様の愛、ギリシャ語で特別な
言葉を使いますが、『アガペーの愛』そのもの
で、愛のクライマックス（頂点）だと思いま
す。「えーっ、そんなこと、敵を愛するなんて、
できるの?!」と思うでしょう。その鍵は、『祈り』
ですよ。迫害する者のためにも祈る、敵のため
にも祈る（!）と、心が変わられていくので
す。

いの祈り 天のお父様、お祈りは不思議で、素晴らし
いものです。お祈りで、あなたの愛の空気
が心に入ってくるのです。

6月24日（土）

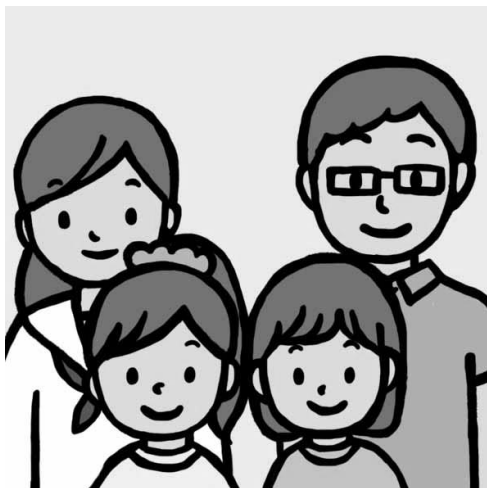


マタイ 5・46~48

あなたがたの天の父が完全であるよ
うに、完全でありなさい。 48節

天の父なる神様も、イエス様も、神様なので
「完全」です。でも、「私たち人間は、みんな
罪人だったし、弱いし、そんな完全な人間にな
って、絶対になれっこありませんよ」と思いま
すよね。もちろん、失敗したり、また罪を犯し
たりする私たち、そのつど、おわびし、十字架
を仰いでゆるしていただきます。が、ここの「完
全」は、「愛することにおいての完全」ですよ。
「天の父のように、私も同じように愛していき
ます」という完全です。

いの祈り 天のお父様、あなたの愛に満たされ完全な
者として生きて、まわりの人にあなたのこ
とを知らせてあげたいです。



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 7・1～5

人をさばくな

さばいてはいけません。自分が
さばかれないためです。

マタイ 7・1

目標

人を裁かない者となる。

6月25日（日）

聖書
聖句

マタイ 7・1

さばいてはいけません。自分がさば
かれないためです。 1節

教会へ行き、聖書を知り、まじめであればあるほど、自分以外のだれかを「あの人は正しくない、地獄へ行く」と決めてしまうことがあります。いつのまにか「神様の愛はわたしのもの」「神様のさばきはあの人のもの」になっちゃうんだね。そして、その人をきらうようになってしまう。でもほんとにそれでいい？ ちがうよね。わたしもあの人も、神様の目から見たら罪人。だけど愛されているんだったね。神様の愛がどの人にもそそがれていることを知るとき、その人への思いも変わるはず！ 愛をわすれないようにね！

祈り

天のお父様、わたしだけでなく、みんなが愛されていることをわすれることがありませんように。

6月26日（月）

聖書
聖句

マタイ 7・1

さばいてはいけません。自分がさば
かれないためです。 1節

「さばくな」って言われると、じゃあだれかが悪いことをしていてもほうっておいていいの？ それもちがうような…？ 聖書では、良いことと悪いことを見分けること、罪からはなれて生きるようにも教えているよね。それはとてもたいせつなこと！ いけないのは「わたしのほうがずっとましな人間」「地獄にいけばいいよ」という心だね。もし近くに「罪をおかしているな」という人がいたら、お祈りしてあげてください。必要があれば、そっと伝えて解決できるように助けてあげてください。たいせつなのは「愛」だよ！

祈り

天のお父様、「さばく」ということばの意味をかんちがいせず、正しく理解できますように。

6月27日（火）

聖書
聖句

マタイ 7・2

あなたがたは、自分がさばく、そのさばきでさばかれ、自分が量るその秤で量り与えられるのです。 2節

人の価値、すばらしさはなにで決まるの？ 「お金」「仕事」「見た目」いろいろあるよね。でも、見えるもので決めてしまったら、そういうものがなくなったとき、「なんだつまんない人間」「だめなヤツ」ってなるよね、あなた以外の人だけでなく、あなた自身も。神様は、あなたや、まわりにいる人すべてを造り、愛しておられること、本当はそこに価値やすばらしさがあるのです。人のちっぽけな考えではなく「神様がどう思われているか」をたいせつにできるあなたでいてくださいね。

祈り

天のお父様、あなたの思いを自分の思いや行いにしていけますように。

6月28日（水）



マタイ 7・3

兄弟の目にあるちりは見えるのに、
自分の目にある梁には、なぜ気がつ
かないのですか。 3節

「いやだなあと思う人」っている？ そうい
う人のきらいなところってかんたんにさがせ
てしまうし、その人のことまるごと、きらい
だったりするんだよね。でもきっとその人も、
あなたのことを同じように思ってるかもね。
人ってふしぎなもので、自分のことがいちばん
正しくすばらしい、と思ってしまうのです。
自分の罪だけはかんたんにゆるせてしまうの
に、ほかの人にはきびしいものです。イエス様
は「まず、自分を見たら？」と言ってるよ。あ
なたの心の中、どうですか？

いの
祈り

天のお父様、だれかのことを言う前に
自分の心の中を見られますように。

6月29日（木）



マタイ 7・4

兄弟に向かって、『あなたの目から
ちりを取り除かせてください』と、
どうして言うのですか。 4節

梁とちり。それは丸太とおがくずってこと。
自分の目に大きなごみが入ったら、いたくて
目も開けられないはずなのに、なんにも感じな
いなんて…！ そんなことある！？ それを罪
ということに、おきかえてごらん。自分の心
の中に大きな罪があるのに、だれかの小さな罪の
ことのほうが気になってしまう。そんなことを
言えるもんなの？ とイエス様のおことば。
「自分の罪」にこそ、もっとびんかんでいない
といけないよね。

いの
祈り

天のお父様、自分の心の罪ということ
にもっとびんかんになれますように。

6月30日（金）



マタイ 7・5

偽善者よ、まず自分の目から梁を取
り除きなさい。 5節

「自分はいい人間だ」と思いこんでいる人に、
イエス様は「うそつきだ！」と言われました。
人はみんな罪を持っているのに、それが見えな
いで、自分の本当のすがたがわからないまま
生きているからです。罪をかかえたまま天国に
たどり着くことはできないからです。あなたは
イエス様と出会って、自分の本当のすがた一罪
のある自分一が見えましたか？ イエス様の
十字架で、すべての罪を処分してもらいまし
たか？ イエス様はあなたの罪をさばき、処分で
きるお方。あなたの罪のために十字架でみがわ
りに死んでくださったただ一人の救い主です。

いの
祈り

天のお父様、わたしのすべての罪をイエ
ス様が処分してくださり感謝します。

7月1日（土）



マタイ 7・5

そうすれば、はっきり見えるよう
になって、兄弟の目からちりを取り除
くことができます。 5節

「だれかを变えたいと思うときは、自分が変
わること」から始まるって知ってる？ だれの
お手本にもなっていない人に「お前それやめろ
よ」なんて言われても聞く気がしないしね！？
「自分の罪が赦された」ことを知っている人は
心が喜びでいっぱいになって、イエス様のた
めに、罪からはなれた生活、神様に喜ばれる
生き方をするようになるものです。そうなって
はじめて、あなたはだれかに良い影響を与え、
だれかの良い助けとなり、友となり、お手本と
なることができるでしょうね。

いの
祈り

天のお父様、自分が変えられることで、
だれかのお手本になる生き方ができま
すように。